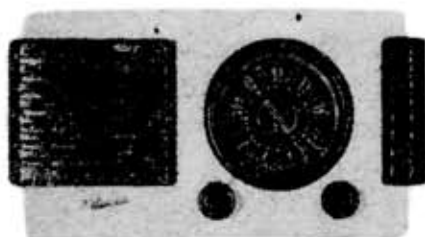


傍熱型 MT 管使用の 5 球スーパー

傍熱型ミニチュア管(6.3V)もすでに軌道に乗っている時、吾国最初のミニチュア(日本電気製)使用5球スーパー・セットが登場、好評を博している。

製造元は東洋産業ラジオ製作所で「メロダイン」として知られている。同セットに使用された中間周波トランスはミニチュア管専用のタマデイン永井製作所の製品である。

ミニチュア管は小型、軽量である



支けに漂游容量の減少等により特性が向上され、セット自体の総合特性に相当の効果を与えている。

本機(M3-5MT型)はラッカー総塗りの近代的なスタイルで樹脂製の透明ダイヤル針はアチラさんのものを思わせる。ちなみに本機の総合特性については、

受信周波数帯 530~1610KC

感度階級 極微電界級 20 μ V/50mW

出力 最大 1W

消費電力 30W

電源 AC 100V

使用真空管 6BE6, 6BA6, 6AT6,
6AR5, 6X4

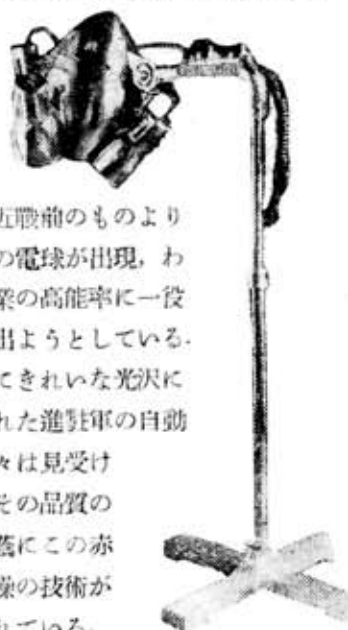
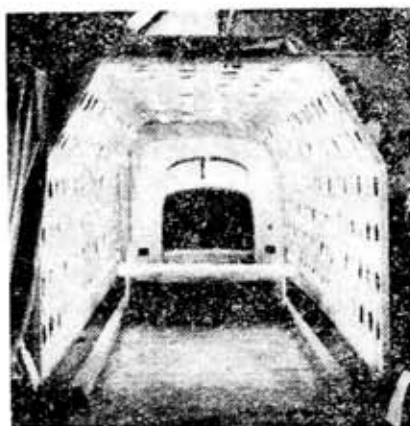
スピーカー 4 吋パーマネント

アンテナ カウンターポイズ組込

外径寸法 正面 30mm 高さ及び奥行 175mm

赤外線電球

僅かな設備費、取扱いの簡便さにより各種乾燥に赤外線電球が使用されている。称して“赤外線乾燥”というが戦前からこの利用に着目して布の乾燥、航空機の木板の乾燥に利用していた。



漸く最近戦前のもより高能率の電球が出現、わが国産業の高能率に一役買って出ようとしている。

非常にきれいな光沢に塗装された進駐軍の自動車を買々は見受けるが、その品質の向上の藍にこの赤外線乾燥の技術が秘められている。

乾燥炉のうちには数千個のランプを使用する大型のものや唯一個のランプを使用する毛髪乾燥機のようなものまである。

家庭用としては一寸値段が気になる外は衣服の乾燥等には危険絶無だけに恰好のものといえる。

ちなみに電力は 100V、50~(60~)で 250W、500W 更に大きいものもある。250W、500W 用のは家庭用電球と同一ソケットでよい便利さがあるが、赤外線ランプには耐熱性のもの例えば陶器製のソケットを使用すれば簡単に家庭用電線から利用できる。寿命も 5,000 時間は充分ある。

とに角工業用として塗装の仕上、接着、粘着における乾燥、染色、樹脂加工、合成樹脂等その応用範囲の広さはまさに圧巻ともいふべきである。

利用範囲の広い
小型トランペット・ホーン

トランペット・ホーンといえば相当大型のものを連想するが、これはラッパの口径 11 吋という小型のものでコーン・スピーカーの一吋上廻る出力 10W という逸品である。ポータブル用として恰好なものであるが、特にパワー・マイクと直結して 6V 電池で動作させると、その利用価値も最大に発揮できるというわけ。

歩いて簡単に携行できる点で、流行のサンドウィッチ・マンとか、交通整理のお巡さん、あるいは一寸した拡声用には福音ともいえる。

従来のトランペット・ホーンと違って、マグネットは今迄の $\frac{1}{3}$ 、またユニットとイクォライザーが結合され、工作の点でも容易なようにできている。能率が従来のと違って 40% というから 10W といっても、僅にそれ以上の出力が望める。周波数特性からいっても今迄の 6,000 サイクルから 10,000 サイクル迄になっている。

パワー・マイク直結の方法は、アメリカは相当の流行を見せているがわが国



としては初めての画期的なものとして注目される。パワー・マイク直結の方法は只今試作中とあるからそのうちお目見得することだろう。

製造元は日本ユニバーシティ。

新しい整流管 5GB5

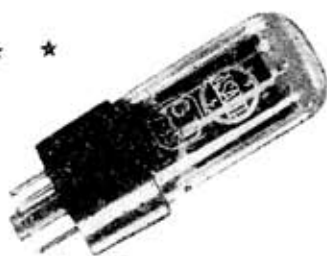
これは 12F より強力だといわれる GT 管で、傍熱型の半波整流器というから ST 管の 80BK、12K 等と対し、



国内新製品紹介



★ ★



★ ★

よ的である。フィラメント電圧 5V, プレート電圧 350V, 出力 75mA という新型整流管のお目得である。(旭真空管工業株式会社製)。

高周波ミシン

ミシンといっても普通の洋裁用のものでない。これは特殊工業用のものだけに高周波発振装置を持っている。わが国のビニール工業は世界各国に劣らず画期的躍進を示し、ビニール製品もあらゆる需要方面に浸透しているが、このビニール製品の加工になくてはならないのが高周波ミシンである。

すなわち、ビニールフィルムを糸と針で縫い合わせると、針孔から破れ易くなったり、またビニールの特長である防水性がなくなる。これらの欠点を完全にカバーする目的で作られたのが本機である。

これは完全な保護物で遮断されているから作業上の危険はない。操作方法は普通のミシンと同様、極めて簡単にテーブルは普通のものより大きい。

高周波加熱は高周波電力を受けとったビニール樹脂自体が発熱体となるので、フィルムの表面は電極により熱をとり去られ、中心部だけが温度上昇し理想的な接着ができるというわけ、

ちなみに電気的な性能は次の通り、

出力 300W (最大)

入力 1KW (最大)

電源 100~110V (50~60 サイクル単相)

接着速度 14 呎 60 秒 (最高)

ローラー電極種類

(1)上ローラー 1 條, 2 條

(2)下ローラー 平面型, ローレット型

発振器の大きさ 50×65×70(cm)

ミシンの大きさ 120×80×70(cm)

接合フィルムの厚さ 0.1~0.5(mm)

(三菱電機株式会社製)

優れた特性の 新型ダイナミックマイク

ダイナミックマイクはカーボン型、ペロシティーに比し、動作安定という点で野外における利用価値が認められていたが、今回写真の如き堅牢優美な新製品が発売された。本器の定格は次のように伸々優秀なものである。



出力レベル -75db(600 オーム)

インピーダンス 600 オーム及び 50 キロオーム

周波数特性 100~8000 サイクル

偏差 10 db 以内 (イコライザー自蔵)

なお、特長としては動作の安定、温度による影響が殆んどない、機械的に堅牢である、等である。(タヤ音響)

出力が大きく針圧が小さい 新型電磁型 P.U.

サファイヤー針を使用する時は 25g 以上の針圧のピックアップではレコードの損耗が急激であり、良好な結果が得られないことは従来のピックアップで随々経験された所であり、逆に針圧を 25g 以下にした場合は出力が僅かであるために、高利得の増幅器を必要とし、従来のピックアップをそのままおきかえることは難かかったが T-

800 型ピックアップが製作され、サファイヤー針を完全に使用し得ると共に普通のスーパー受信機と並用して充分な出力と周波特性が得られるようになった。なお定格について述べると、

1. 針圧 約 20g
2. サファイヤー針の交替が容易
3. 出力 500 mV
4. 周波数特性 30~10000 サイクルフラット
5. インピーダンス 1000 サイクルで 15 キロオーム等である。

★ ★ (タヤ音響)

技術標準店と検定規則

通産省無線課ではラジオ受信機修理調整技術者検定制度およびラジオ技術標準店制度について準備を進め、昨年中には通産省公示として制定されるものとみられていたが、種々の障害により本年度に持ち越され、ようやく 3 月 1 日に公示できる見通しがついた模様である。

この制度は昨年通産省無線課で全ラ連、電波庁、NHK などの協力を得て実行計画を進め、規則の立案に当たると共に本年 6 月には第 1 回検定試験を行う計画であったが審査機関を「ラジオ受信機改善委員会」とする通産省の案に対して反対する声があつたため、今後の問題として持ち越されてきたもので、本年度に入りさらに真実の探察に努めた結果、認定および検定の規則作成は 2 月 1 日に完了を予定して 3 月 1 日に公示、制定し申請者(修理業者)の書類受付を 6 月 1 日からとして第 1 回の検定および認定試験はおそくとも来年 3 月完了を目途に準備を進めている。

問題の検査機関には審議会を設けてその専門部会に認定、検定の実施を担当させ、各地の通産局を利用して試験を行う。

審議会の委員には通産省機械局長及び地方通産局長が定まるもので民間専門家が多数起用される模様で、これら審議会の委員および審議会の規約は公示と同時に発表される予定である。

通産省としてはこの制度ははじめての試みであるため、周知徹底に意図の日時を要するかも知れず、順調に準備が進めば 10 月頃には第 1 回の認定、検定試験が行われるともみられている。

なお申請者の書類受付などの細目にわたる規約などはまだ具体化の域に達していないものとみられている。